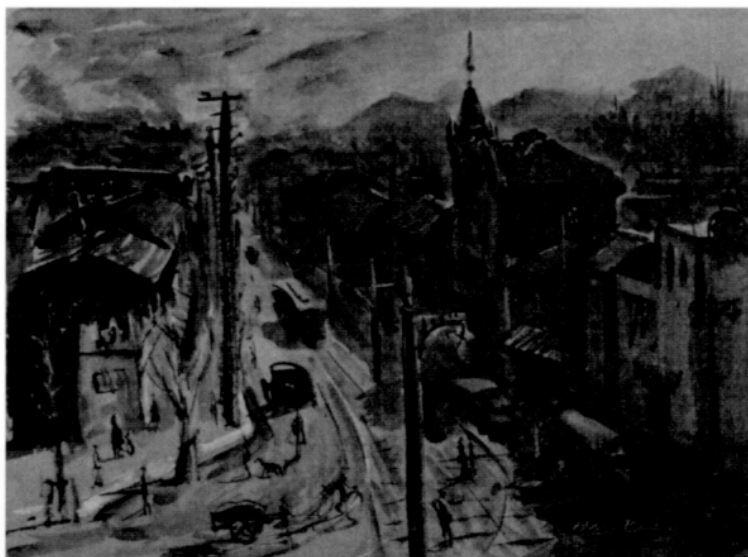


ギャラリー 絵画コレクション展

生誕110年 別車博資展

兵庫・西出町に生まれた水彩画家・別車博資（1900～76）の生誕110年を記念し、兵庫県内風景を中心に30点の作品を展示します。大阪の信濃橋洋画研究所に学び、母校の県立兵庫工業高等学校で教鞭を執った別車は、日本水彩画会と一水会を中心に活躍。伸びやかな筆遣いと、大気のある存在を感じさせる爽やかな画風が魅力です。

さて、近年お洒落な雑貨店が続々と進出している中央区栄町通に、7年ほど前まで昭和の香りを感じさせる喫茶店コットン（cotton）が在りました。1950年代より当地で営業され、別車博資も常連客でした。オーナー夫妻は別車作品の蒐集家でしたが、数年前相次いで世を去られ、喫茶店は別店舗に変貌。2010年春、関係者の尽力により、神戸風景を多く含むコットンコレクションの四分の三（12点）が当館へ寄贈されました。本展で初めてまとまったかたちで紹介します。



3. 別車博資《旧栄町風景》1932（昭和7）年 水彩・紙

平成22年(2010)12月11日(土)～平成23年(2011)1月16日(日)

休館日：毎週月曜日（1月10日は開館）、12月29日～1月3日、1月11日(火)

神戸市立博物館 2階ギャラリー

〒650-0034 神戸市中央区京町24 TEL 078-391-0035

同時開催：ワイドビューの幕末絵師 貞秀 / 江戸時代の日本図・中国図

開館時間：午前10時～午後5時（金曜日は7時まで開館、入館は閉館30分前まで）

入館料：一般500円（400円） 高大生350円（250円） 小中生200円（100円）



1954年2月

コットンさん (cotton)、それはなつかしい喫茶店の名前です。50年くらい前、父が頼まれたお店のマッチのデザインを考えている時、私はその名を知ったのです。神戸大丸の近く、栄町通二丁目にありました。

私は西宮に住むことになって、なかなかコットンさんまで行く機会がなかったのですが、父が亡くなって（注：1976年）から初めて、お礼方々訪ねました。

セピア色の壁、レトロ感を大切にされた小さなお店の中に、経営者の米谷ご夫妻がおられました。ご主人は静かな感じでゆっくりと話され、奥さんは大変美人で明るい方でした。

私はハッ！としたのです。ご夫妻は父の絵のファンでよく買ってくださいました。父もまたこの奥様のファンであったのだと理解したのです。タンゴの曲が静かに流れる、お店の雰囲気。ミルク紅茶と2枚のビスケットが定番でした。

父にとってご夫妻から大切にされ、居心地がよく、決まって座る席…そこで依頼された原稿を書く。その場面を想像するだけで、私まで幸せになります。

タンゴを上手に踊るご夫妻。父を中に3人だけの若き日の写真。今はもう、この3人は世にいませんが、コットンさんの絵は遺言で博物館に寄贈していただきました。

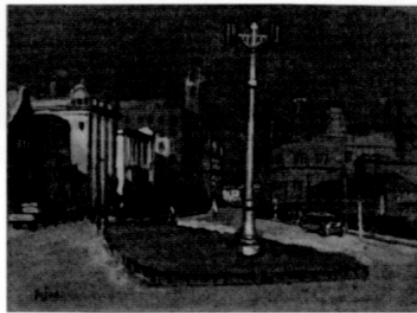
感謝あるのみです。

2010年12月 別車博資生誕110年に寄せて

伊勢上仁子（別車博資長女）



19. 《海岸通 (A)》1952



20. 《海岸通 (B)》1952



21. 《海岸通 (C)》1952



25. 《姥子温泉 (箱根)》制作年不詳



26. 《早春彦根城趾》1973



27. 《北アルプス》制作年不詳

～神戸市と兵庫県内の風景を中心に & 新収蔵cottonコレクション～

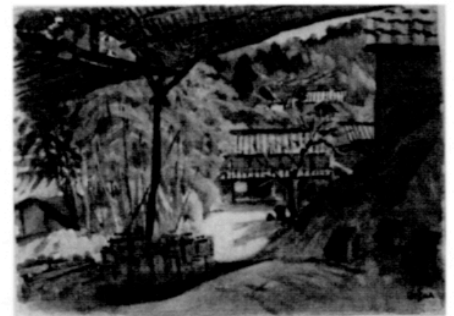
作品名	制作年	技法・材質	寸法	出品展覧会/コレクション
1 風景	1930 (昭和5) 年	水彩・紙	38.5 × 49.8	
2 省線線路	1931 (昭和6) 年	水彩・紙	28.1 × 28.1	
3 旧栄町風景	1932 (昭和7) 年	水彩・紙	44.2 × 58.9	
4 海岸通	1933 (昭和8) 年	水彩・紙	50.3 × 62.6	
5 三宮風景	1935 (昭和10) 年	水彩・紙	38.9 × 51.4	
6 神戸屋上暮色	1957 (昭和32) 年	水彩・紙	40.0 × 62.8	第46回日本水彩画会展
7 工場街展望	1958 (昭和33) 年	水彩・紙	56.5 × 75.7	第46回日本水彩画会展
8 神戸風景 (県庁前)	1963 (昭和38) 年頃	水彩・紙	38.1 × 54.4	
9 神戸京橋	1963 (昭和38) 年	水彩・紙	69.2 × 102.0	第25回一水会展
10 須磨彩雲	1960～63 (昭和35～38) 年頃	水彩・紙	38.0 × 54.0	第61回日本水彩画会展
11 彩雲 兵庫運河	1965 (昭和40) 年頃	水彩・紙	26.9 × 38.1	
12 兵庫運河	1973 (昭和48) 年	水彩・紙	19.0 × 26.7	
13 初秋・六粟の農家	1950年代頃	水彩・紙	55.9 × 75.6	
14 竹林のほとり	1954 (昭和29) 年頃	水彩・紙	52 × 71.5	第42回日本水彩画会展
15 播州六粟風景	1954 (昭和29) 年頃	水彩・紙	56.3 × 75.1	第16回一水会展
16 秋の鶴林寺	1960 (昭和35) 年	水彩・紙	37.9 × 53.8	マルセイユ現代美術展
17 秋のいなみの (東播磨加古川)	1967 (昭和42) 年頃	水彩・紙	25.9 × 33.8	
18 石の宝殿	1973 (昭和48) 年頃	水彩・紙	68.8 × 102.9	第35回一水会展
19 海岸通 (A)	1952 (昭和27) 年	水彩・紙	26.5 × 35.9	コットンコレクション
20 海岸通 (B)	1952 (昭和27) 年	水彩・紙	26.6 × 35.9	コットンコレクション
21 海岸通 (C)	1952 (昭和27) 年	水彩・紙	26.2 × 35.9	コットンコレクション
22 雪の朝・中突堤	制作年不詳	水彩・紙	24.8 × 33.7	コットンコレクション
23 灯ともし頃 (神戸港)	制作年不詳	水彩・紙	18.2 × 26.2	コットンコレクション
24 立杭の窯屋	制作年不詳	水彩・紙	27.9 × 37.6	コットンコレクション
25 姥子温泉 (箱根)	制作年不詳	水彩・紙	26.9 × 32.0	コットンコレクション
26 早春彦根城趾	1973 (昭和48) 年	水彩・紙	19.1 × 27.5	コットンコレクション
27 北アルプス	制作年不詳	水彩・紙	25.5 × 29.7	コットンコレクション
28 谷川岳を望む (いかほグリーン牧場より)	1974 (昭和49) 年6月	水彩・紙	13.3 × 23.3	コットンコレクション
29 雨後竹林 (熱海)	制作年不詳	水彩・紙	19.0 × 27.1	コットンコレクション
30 門崎より福良湾を望む	1970 (昭和45) 年	水彩・紙	16.5 × 26.5	コットンコレクション



22.《雪の朝・中突堤》制作年不詳



23.《灯ともし頃 (神戸港)》制作年不詳



24.《立杭の窯屋》制作年不詳



28.《谷川岳を望む (いかほグリーン牧場より)》1974



29.《雨後竹林 (熱海)》制作年不詳



30.《門崎より福良湾を望む》1970

べっしやひろすけ
別車博資 (1900~76) 年譜

西暦	和暦	年齢	事項
1900	明治33		9月2日、別車繁次郎、ぎんの長男、繁太郎として、神戸市湊西区（現兵庫区）西出町に生まれる。
1917	大正6	17歳	兵庫県立工業学校機械科に入学。
1920	大正9	20歳	3月、兵庫県立工業学校機械科を卒業（第14回生）。 5月、同校の機械科実習教員となる。同校には昭和47年まで勤め、多くの後進を育てた。 この頃より油絵、水彩画を独習しはじめる。 三宅克己による水彩画の技法書と出会う。 また哲学に深い関心を持ち、西田幾多郎に傾倒した。
1925	大正14	25歳	神戸工業高等専修学校を卒業。
1928	昭和3	28歳	高野山にて15日間の断食をおこなう。 哲学的な思索への憧れと、自身の鍛錬のためであったという。また、元来胃腸が弱く、それを癒す目的もあった。 昭和初年頃より、信濃橋洋画研究所に学ぶ。国枝金三に師事。博資（ひろすけ）の画号を用いるようになる。
1929	昭和4	29歳	兵庫県展初入選（金賞受賞）。
1930	昭和5	30歳	2-3月、第17回日本水彩画会展に《神戸風景》を出品、入選。 兵庫県美術家聯盟の結成に参加。
1932	昭和7	32歳	5-6月、第19回日本水彩画会展に《巨船ブリテン号》《神戸市街》を出品。 第一賞（日本水彩画会賞の次に相当する賞）を受賞。以後、出品を続ける。 6月、久岡千代子と結婚。 千代子の実兄は著名な俳人、杏南子であった。千代子も長谷川かな女に師事し、「芽夜女（ちやじょ）」の俳号を持つ。 9-10月、第19回二科展に《倉庫街風景》を出品、入選。同会には昭和11年まで出品する。 12月、日本水彩画会会員に推挙される。 この年、青野馬左奈、池島勘治郎、桂 龍雄とともに、関西水彩画協会（昭和38年に関西水彩画会と改称）を創立。
1933	昭和8	33歳	4月、初の個展、「別車博資水彩画個人展」を開催し50点出品（神戸・鯉川筋、画廊）。
1935	昭和10	35歳	4月、昭和7年に発足した関西水彩画協会の創立記念展を大阪・阪急画廊で開催する。 同会は、講習会や研究会を開催、水彩画の普及に尽力した。
1937	昭和12	37歳	国枝金三の勧めにより、前年に創立された一水会へ参加。石井柏亭に師事する。 11-12月、第1回一水会展に《出帆（出航）》を出品。以後、出品を続ける。
1939	昭和14	39歳	この年、神戸市役所の依頼を受けて、神戸市立第二図書館（上筒井分館）の玄関壁画《黎明の港》（水彩）を制作。 メリケン波止場を描いた600号（縦2.0m×横5.4m）の大作であった。
1940	昭和15	40歳	7月、兵庫県立第一神戸工業教諭に任ぜられる。
1946	昭和21	46歳	3月、神戸洋画会の創立に参加、会員となる。 戦後、日本水彩画会展と一水会展を中心に出品を続ける。
1950	昭和25	50歳	9月、一水会会員に推挙される。
1960	昭和35	60歳	3月、兵庫県立兵庫工業高等学校教諭を辞して講師となる。
1964	昭和39	64歳	4月、アラブ、ギリシアを経て、イタリア、ドイツ、スイス、フランス、オランダ、イギリス、スペイン、モロッコを4ヶ月近く旅行する。
1965	昭和40	65歳	「ヨーロッパ風景展」（大丸神戸・画廊）を開催。 12月、兵庫県の文化団体「半どんの会」の現代芸術賞・美術賞を受賞。
1966	昭和41	66歳	11月、兵庫県文化賞を受賞。
1970	昭和45	70歳	6月、別車博資・画業50年記念展「兵庫の120景」（大丸神戸）が開催される。 半世紀に及ぶ画作の中から、兵庫県の四季折々を描いた風景画を選んだ回顧展であった。
1972	昭和47	72歳	3月、兵庫県立兵庫工業高等学校を退職。画作に専念する。 日本水彩画会展の評議員をつとめる。
1976	昭和51		1月2日、心筋梗塞のために死去、享年75歳。
1980	昭和55		神戸市に水彩画89点および、画家が長年蒐集してきた浮世絵、陶磁器など254点が千代子夫人より寄贈される（計344点）。 10月、「海と空と光と…別車博資の水彩画」（さんちか広場、ギャラリーさんちか）が開催される。
1995	平成7		3月、神戸市に画家が長年蒐集してきた江戸絵、書画、東洋陶磁器が別車博・伊勢上仁子氏より寄贈される。
2000	平成12		10月、生誕100年を記念して『別車博資作品集』が刊行される。 10-12月、「生誕100年記念 別車博資水彩画展」（神戸市立博物館ギャラリー）が開催される。